

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束について	外門の施錠	職員の配置、見守り、センサーの活用等、外門であっても鍵をかけない取り組みをする。 (時間を決めてオープンな状態にしている。) (雨天時は常に門は開いている状態である。)	4ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針について	入居時の利用契約書と重要事項契約書にターミナルとなった場合のケアはしないと記載する。	出来る事、出来ないことを明らかにして、ホーム契約書に文書として添付する。	1ヶ月
3	35	災害対策	原発、土砂災害、風災害、水不足時の対策	原発、土砂災害、風災害→避難場所の確認を確実にする。水不足→地域の水製造業者に依頼する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。